

**請願文書表**（平成29年3月定例会）

受理番号	請 第 2 号
受理年月日	平成29年2月24日
件 名	安定ヨウ素剤の希望者等への事前配布に関する請願
請 願 者	舞鶴市朝来西町4-2 府営住宅2-18 舞鶴市民の安心・安全を考える会 代表（朝来西町区長） 河端謙治
紹介議員	亀井敏郎、田村優樹
要 旨	<p><b>【請願事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全市民を対象に、希望する人への安定ヨウ素剤の事前配布を行うこと。</li> <li>2. 市内の福祉施設や教育施設などに対し、安定ヨウ素剤の事前配布を行うこと。</li> <li>3. 原発事故が発生した場合、舞鶴市へ速やかに報告がなされるよう、関西電力に強く求めること。</li> <li>4. 原発事故が発生した場合、市民への連絡と避難が速やかに行われるよう、体制を確立すること。</li> </ol> <p><b>【請願趣旨】</b></p> <p>福島第一原子力発電所の事故は、6年が経過した今も収束していません。現在でも多くの県民が避難生活を余儀なくされ、放射能被害は国民に甚大な影響を与え続けています。また、近年の熊本や鳥取での地震は、日本のどの地域でも災害が起こりうることを表しているのではないのでしょうか。</p> <p>今、福島では原発事故後の子供の甲状腺がんの調査が引き続き行われていますが、多くの子供たちが甲状腺がん、もしくはその疑いがあるとされ、そうした結果について、多くの専門家が福島原発事故との関連性を指摘しています。</p> <p>安定ヨウ素剤を用いることで、原発事故時の甲状腺がんを予防することが可能ですが、被ばく直後に服用すると90%以上の効果があるとされるものが、3時間経過後の服用では50%に激減すると言われていています。</p> <p>高浜原発から市全体が30キロ圏内に入る舞鶴市で、甚大な原発事故が発生した場合、避難の混乱の中、安定ヨウ素剤の効果が高い時間内での服用が確実にできるのか、大変不安であり疑問に思うところです。</p> <p>舞鶴市民、とりわけ未来を担う子供たちの命と健康を第一に守ることが、自治体の責任であると考えます。そこで全市民を対象に希望する人、及び市内の社会福祉施設や教育施設などに対し、安定ヨウ素剤を事前に配布するよう求めます。</p> <p>また、原発事故が発生した場合、事故の情報や放射能の状況が舞鶴市へ速やかに報告されるよう関西電力に強く求めていただくとともに、市民への連絡と避難が速やかに行われるよう、市において避難体制をしっかりと確立していただくことを求めます。</p>

	本市において市民が安心して暮らせるようお願いします。
付託委員会	原子力防災・安全等特別委員会